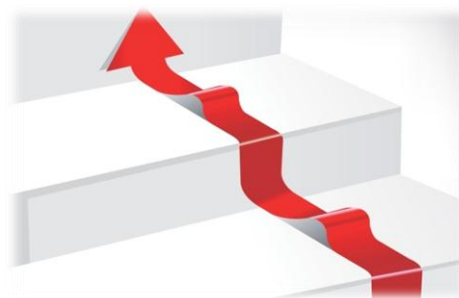


宝塚市若者就労支援事業は、宝塚NPOセンターが受託し4年目となる事業です。昨年度に比較し、参加人数が増え、開講時期から12名以上の参加がありました。このことは、宝塚市役所の広報だけでなく、地域の医療機関も含め幅広く呼び掛けたことによる結果です。それに伴い、新しい対応としてセンタースタッフとジョブ・コーディネーターがサポートする体制を作り上げました。

講座参加人数が多いことで参加者にとってのコミュニケーション力の向上と、自信の獲得などの良い効果を得られたように見受けられます。参加者同士で携帯メールなどを利用し連絡を取り合うことを勧めてみたところ、STEP2のコミュニケーション講座から少しずつ交流がはじまり、スポーツを取り入れた交流会の企画も提案したことも相乗効果となったのか、参加者同士で連絡を取り合う様子が見られました。



講座参加人数等	
・セミナー参加者数	のべ63名
・職場体験実習参加者	12名
・就職者数	4名
・他支援施設リファー	1名
・就職活動中	5名
・現職継続	2名



ワークサポート宝塚「若者しごと相談広場」

- ◆ 日 時 5月8日（火）～2月26日（火）の不定期火曜日 10:00～17:00
計18回開催
- ◆ 場 所 宝塚NPOセンター
- ◆ 内 容 概ね15歳から35歳までの若者を対象にした個別就労相談。
 - ・予約の相談者を優先し相談を実施。
 - ・ワークサポート宝塚と連携し相談紹介に対応。
センターによる通常日相談受付を含めのべ94名が利用。



宝塚市「阪神・淡路大震災1.17追悼・防災啓発事業」

「宝塚・語りつく震災～災害でいのちをなくさないために～」

宝塚市と協働で震災の啓発行事を開催。
阪神淡路大震災から18年、東日本大震災から約2年、ふたつの大震災を風化させないために、その体験を語りつぐとともに、震災から得た教訓を活かして、「災害に強いまちづくり」について考えるきっかけとするべく開催。
「災害でいのちをなくさないために」をテーマとした“シンポジウム”と“鎮魂のための追悼キャンドルイベント”の2部構成で実施、シンポジウムはソリオホール満杯の300名、そして早朝5時30分からの追悼キャンドルイベントには200名の参加があり、多くの市民が関わる恒例行事となっています。

(1)シンポジウム

日 時：1月9日(火)宝塚ソリオホール
参加者：300名
協力団体：コーラスグループ「コーロ ラ・ビスタ」
プログラム：基調講演「にげることは生きること」
講師：河田 恵昭さん
関西大学理事・社会安全学部・社会安全研究センター長・教授
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長



パネルディスカッション

「語りつく震災 ～にげることは生きること～」

<パネリスト>

佐藤 誠さん・・・神戸松蔭女子学院大学文学部教授・
元NHKエグゼクティブ・アナウンサー

伊藤貴子さん・・・東日本大震災体験者・宝塚市在住)

<コーディネーター>

河田恵昭さん



(2)追悼キャンドル・記帳

日 時：1月17日(木)末広中央公園

参加者：200名



川西市「若者の自立支援事業」

緊急雇用制度で3名の若者を雇用し、事業を進めました。

(1) 保護者のためのシンポジウム

若者のいまを考えるフォーラム

『生きづらい時代の若者たち～未来に向かって、ともに歩む～』



- ◆ 日時 2012年12月11日(火) 14:30～17:30
- ◆ 会場 アステホール
- ◆ 参加者 222人
- ◆ 内容 齊藤環さんによる基調講演「生きづらい時代の若者たち」と、パネルディスカッション「困難を抱える若者によりそう～ひきこもり、ニート、不登校を考える～」を開催。パネリストには田中俊英さん、井村良英さん、貴戸理恵さんをお招きしました。アンケートは約6割の方が回答。具体的には基調講演において齊藤さんが現代の若者の生きづらさをマズロー欲求段階説使って説明されていた点、またパネリスト陣を含めた専門的立場からの弁が分かりやすいとの記述があり、回答者の9割を超える皆さんから参考になったとの評価を頂きました。



(2) 里山整備体験



- ◆ 日時 2012年11月24日・12月15日(雨天中止)
2013年1月19日・2月9日・3月23日(いずれも土曜日) 8:30～17:00
- ◆ 場所 川西市黒川地区「黒川・桜の森」並びに黒川公民館
- ◆ 参加者 のべ28人
- ◆ 内容 森林ボランティア「菊炭友の会」のご協力のもと、笹刈・間伐・炭焼などの里山整備を体験しました。また、黒川地区まちづくり推進協議会のご協力のもと、整備体験終了後は交流時間を設けるために黒川公民館をお借りし、参加メンバーの親睦を深めました。参加者は高校生から39歳まで多様なメンバー。この体験を通じて高校生グループと黒川地区がつながり、文化祭で野菜販売を行う等の計画に発展しています。



(3) かわにしトークセッション 「夢あと一歩、もう一歩 with 間寛平」



- ◆ 日時 2013年2月24日(日) 15:00～16:45
- ◆ 会場 アステホール
- ◆ 参加者 244人 (若者トーク参加者24名 観覧者220人)
- ◆ 内容 ボランティア企画メンバー7名を中心にセンター職員および川西市役所担当課の協働で企画・運営したイベントです。公募で選ばれた24名の若者がゲストの間寛平さんと各々の夢についてトーク。観覧に訪れた多くの方は若者の親御さん世代。若者を励ます間さんの姿勢に多くの方が共感され、若者もその励ましを素直に受け入れ「勇気をもたらえた」「努力の大切さを学んだ」などの感想が印象的でした。



今年度の 県に対する事業達成度 実績/目標

区分	達成目標	達成状況
雇用創出数	280人	403人（144%）
起業団体数	28団体	32団体（139%）

(1) 基本的事業

① 情報提供

相談者等の関係者、講座受講者等に適宜情報提供を行なっています。ホームページ・ブログ、メールニュース、ニュースレターなど広範なツールを活用しながら、効果的にCBやNPOの情報提供を行なっています。



・ホームページ及びブログ

⇒ 対象者: 阪神北地域を中心とした住民等及び相談者等関係者

・メールニュース

⇒ 対象者: 相談者をはじめとする関係者
対象数: 約2500人・団体/回

・ニュースレター

⇒ 対象者: 相談者等の関係者へ郵送。講座や関係機関等で配布
対象数: 2000部/回

6月、9月、12月、3月号 2回発行済/(年間4回発行)

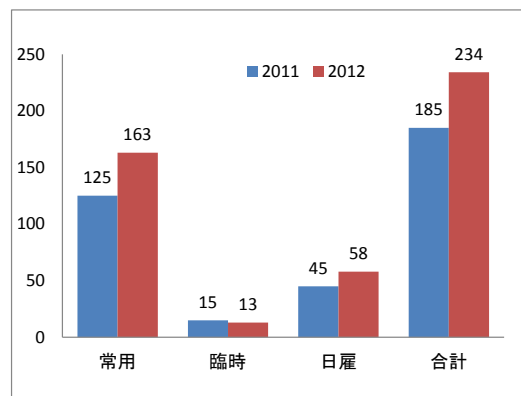
② 相談業務

就業相談

無料（2月より有料）職業紹介事業として適宜実施しました。（職業紹介事業の項で詳細報告）

厳しい雇用環境の中、今年度の就業内容の特徴としては、うつや精神障害など難しい相談者も増えている中、スタッフ全員で情報を共有し、丁寧な対応により順調にすすめることが出来ました。常用雇用も順調に伸びており、中身の濃いマッチング内容となりました。

また被災避難者への就職マッチングも24年度は10名成立でき、これまでの合計17名となりました。



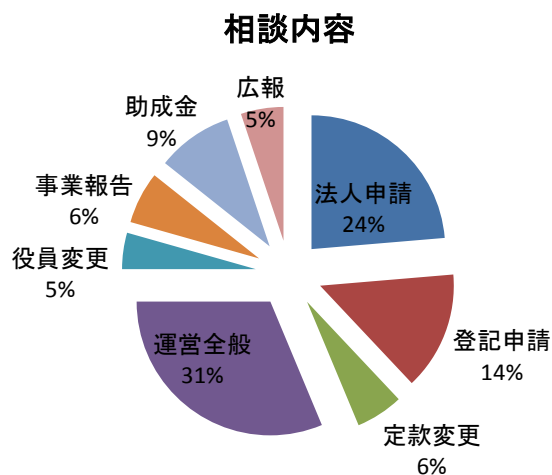
起業相談

NPO法人の設立認証申請書類の作成から、登記申請書類の作成、法人設立後の設立登記完了届から、各種変更手続き、経営相談、人間関係マネジメントまで、相談者それぞれの事情があるため、個別相談が効果的・効率的と判断しています。相談者のニーズに合わせ、法人設立申請から登記、変更届まで、スムーズな立ち上げができるよう支援しています。今年度の企業団体数は32法人（新規団体24法人、拡充団体8法人）で、昨年より増加。分野としては高齢者・障害者支援などの福祉関係が1/3程度ありますが、時代を反映した再生エネルギーや子ども教育・子育て支援、伝統芸能、アートなどバラエティーに富み、NPOのすそ野が広がっています。

2012年度起業団体			所在地	活動内容
1	4月	NPO法人新生コーチ・カウンセラー起業支援協会心結KIZUNA	西宮市	コーチ・カウンセラー等の育成
2	4月	MPO法人D・B・Cグループ	美方郡	有害鳥獣の有効活用
3	4月	NPO法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク	豊岡市	若者自立支援、震災復興支援
4	4月	NPO法人近畿ふれあい協会	伊丹市	高齢者・障がい者支援
5	4月	NPO法人ケティーハウス(事業拡充)	宝塚市	高齢者・障がい者支援
6	4月	NPO法人コスモス(事業拡充)	宝塚市	障がい者支援
7	4月	NPO法人エコ・レボリューション(事業拡充)	宝塚市	地球温暖化防止
8	4月	まちかどすみれ	宝塚市	子育て支援
9	6月	NPO法人近畿NPOセンター	宝塚市	スポーツ交流
10	6月	NPO法人こども療育センター	三田市	発達障がい児の社会的自立支援
11	6月	NPO法人トライサングル	宝塚市	高次脳機能障害者の就労移行支援
12	6月	NPO法人しんぼ	三田市	高齢者・障がい者支援
13	6月	NPO法人オフコース(事業拡充)	三田市	高齢者・障がい者支援
14	7月	NPO法人住生活研究所	川西市	高齢者・障害者・若者・児童支援
15	8月	NPO法人パブリックプレス	尼崎市	医療・介護・福祉の情報発信、啓発
16	9月	NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会	宝塚市	再生可能エネルギーの利用推進・啓発
17	9月	NPO法人スマイルプラス	豊岡市	コミュニケーション能力向上と子育て支援
18	9月	NPO法人一円電車あけのべ	養父市	明延鉱山の産業遺産に関する調査・研究・保存・活用
19	9月	NPO法人宝塚 高次脳機能障害者 共生の会	宝塚市	高次脳機能障害者の就労支援
20	9月	NPO法人コクーンコンサルタンツ	宝塚市	運営資金や事業運営のノウハウの提供
21	10月	一般社団法人めぐる。Com	丹波市	再生可能エネルギーの導入推進等
22	10月	NPO法人宝塚サージュエリーネットワーク	宝塚市	伝統芸能・音楽等の文化振興事業等
23	11月	NPO法人ひょうご住まいと環境	養父市	地域木材による住宅建築の推進等
24	12月	NPO法人にほんご豊岡あいうえお	豊岡市	外国人に対する日本語教室・生活支援等
25	12月	NPO法人Creative Debates for GRASS ROOTS	西宮市	こども英語落語等、英語力・人間力の育成
26	12月	NPO法人とことこ(事業拡充)	宝塚市	介護保険法に基づく介護予防・居宅サービス
27	12月	NPO法人たじま海の学校(事業拡充)	美方郡	ジオパーク推進及び地域活性化
28	1月	NPO法人おおやアート村	養父市	アート体験や農体験などの交流活動
29	1月	NPO法人消費者協会宝塚(事業拡充)	宝塚市	消費者団体・関係諸機関とのネットワーク拡充
30	2月	NPO法人ネイチャーマジック	西宮市	自然体験活動及び専門家の育成
31	3月	NPO法人まちの電気屋さんを元気にする会	宝塚市	地域小規模電気小売店に対する経営体質強化支援
32	3月	NPO法人そら(事業拡充)	豊岡市	子どもの見守り事業の追加

経営相談

設立団体の増加に伴い、様々な相談が寄せられ、運営支援の比重が増えています。相談内容に応じて、それぞれのスタッフの強みを生かして、チームとしてかかわっています。また、スタッフで受けきれない専門的な相談には、会計や労務、ITの専門家、経営コンサルなど、充実した相談体制で臨んでいます。



③CBゼミナール：2コマ開催 のべ58人参加

CB・SB入門講座2コマ、NPOの資金調達2コマという基本的なテーマで開催しました。

講座名	開催日	開催場所	講師名	参加者数
CB・SB起業セミナー①	11/30	宝塚市文化施設 307	(株)出藍社 松崎光弘	12
CB・SB起業セミナー②	11/30	宝塚市文化施設 307	(株)出藍社 松崎光弘	14
NPOの資金調達①寄付の集め方	3/17	宝塚市立男女共同参画センター	(特)山科醍醐こどものひろば 村井琢哉	16
NPOの資金調達②助成金申請のポイント	3/17	宝塚市立男女共同参画センター	(特)山科醍醐こどものひろば 村井琢哉	16



「CB・SB起業セミナー」



「NPOの資金調達」

④実務講習会：17コマ開催 のべ175人参加

生きがいある仕事を実現するため、NPOやCBについて、基本的なスキルを身につけ、スキルアップを目的とした講座。基礎的な事務局実務や会計(新会計基準等)、広報・情報発信力など、NPO法人の事務局の運営上、欠かせないスキルを身につける事を主眼に開催し、さらなるスキルアップを目指し、事業計画の作り方セミナーを開催しました。また、本年度は、契約の基礎を学んでいただくために契約書の読み方講座も実施しました。



「広報力・情報発信力セミナー」



「事業計画」の作り方セミナー」



「NPOの労務管理講座」

	事業名	講座名	開催日	開催場所	講師名	参加者数
1	b 実務講習会	法人になったら必ずやること講座①	5/29	(特)宝塚NPOセンター	(特)宝塚NPOセンター 橋田てつ子・吉野茂子	6
2	b 実務講習会	NPO会計講座(基礎編)	6/27	宝塚市立男女共同参画センター	オフィスメイト 増本有砂	9
3	b 実務講習会	法人になったら必ずやること講座②	7/20	(特)宝塚NPOセンター	(特)宝塚NPOセンター 吉野茂子	5
4	b 実務講習会	NPO法人の労務管理講座	7/20	宝塚市立男女共同参画センター	村上義弘	11
5	b 実務講習会	法人になったら必ずやること講座③	9/20	(特)宝塚NPOセンター	(特)宝塚NPOセンター 吉野茂子	5
6	b 実務講習会	法人になったら必ずやること講座④	11/20	(特)宝塚NPOセンター	(特)宝塚NPOセンター 吉野茂子	4
7	b 実務講習会	NPO会計講座(外部報告について)	12/8	宝塚商工会議所研修センター	NPO会計支援センター 萩野俊子	22
8	b 実務講習会	NPO会計講座(説明責任について)	12/8	宝塚商工会議所研修センター	NPO会計支援センター 萩野俊子	22
9	b 実務講習会	事業計画の作り方セミナー①	12/14	宝塚市立男女共同参画センター	㈱出藍社 松崎光弘	10
10	b 実務講習会	事業計画の作り方セミナー②	12/14	宝塚市立男女共同参画センター	㈱出藍社 松崎光弘	10
11	b 実務講習会	法人になったら必ずやること講座⑤	1/22	(特)宝塚NPOセンター	(特)宝塚NPOセンター 吉野茂子	5
12	b 実務講習会	広報力・情報発信力セミナー①	1/22	宝塚市立男女共同参画センター	NPO法人SEIN 宝楽陸寛	10
13	b 実務講習会	広報力・情報発信力セミナー②	1/22	宝塚市立男女共同参画センター	NPO法人SEIN 宝楽陸寛	10
14	b 実務講習会	NPO会計講座①決算処理	3/5	宝塚市立男女共同参画センター	オフィスメイト 増本有砂	17
15	b 実務講習会	NPO会計講座②年度末届出書等	3/5	宝塚市立男女共同参画センター	オフィスメイト 増本有砂	18
16	b 実務講習会	法人になったら必ずやること講座⑥	3/21	(特)宝塚NPOセンター	(特)宝塚NPOセンター 吉野茂子	1
17	b 実務講習会	契約書の読み方講座	3/28	宝塚市立男女共同参画センター	よつば法律事務所 弁護士 松尾陸寛	10
計						175

(2)定着循環事業

- ①県下の生きサポの合同フォーラム「ひょうごコミュニティ・ビジネスフォーラム」を開催しました。
 ・基調講演：講師 秋山 正子さん「命の輝きを引き出す在宅ケアを行うために」
 ・分科会：5つの分科会に分け、当センターは「子育て支援」を担当。講師 末永美紀子さん
- ②その他、継続していくための課題解決、専門家派遣で事業展開。団体運営に必要でタイムリーな課題を解決するために少人数の演習を中心とした講習会を開催しました。

事業名	事業内容	開催日	開催場所	参加者数
1 c 定着・循環事業	生きサポ合同フォーラム これからの将来を拓く起業家たち	9/15	神戸国際会館セミナーハウス	165
2 c 定着・循環事業	課題解決セミナー①	10/31	宝塚市立男女共同参画センター	10
3 c 定着・循環事業	課題解決セミナー②	10/31	宝塚市立男女共同参画センター	10



合同フォーラム「基調講演」



分科会



課題解決ワークショップ



③ 専門家派遣事業

専門的見地からのアドバイスが必要な相談に対し、外部専門家のサポートを得て、相談者の課題解決を支援しました。

対象案件：6団体に対し12コマの個別派遣・個別相談を実施。

(3) 団塊世代の元気推進事業

① コミュニティジョブ入門事業

地域につながりを持ちたいが、きっかけがないというシニア・団塊世代のために、2回に亘ってセミナーを開催し、参加者は合計51人でした。

退職者を中心に講師と参加者として、ワークショップを通じ、シニア団塊世代が第二のステージとして起業した事例紹介を通して、起業やNPOでの働き方、地域デビューのイメージを掴んでいただきました。

② インターン事業

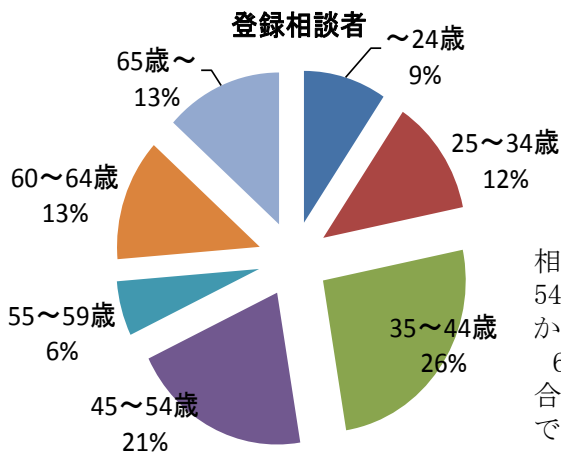
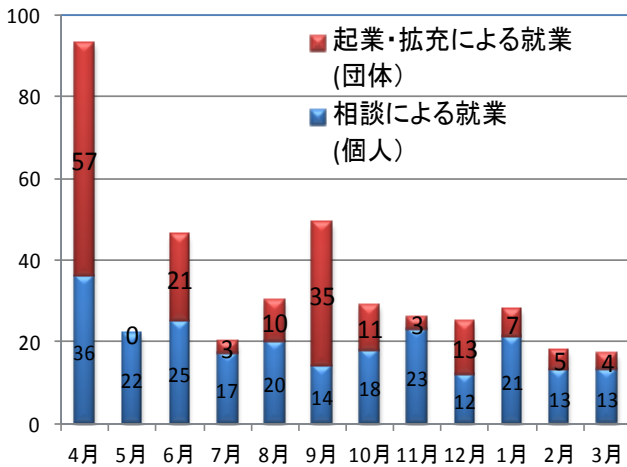
対象案件：インターン希望者7人に対し、6団体にて研修を実施。

インターン生の感想：

今まで希望しながらできなかった音声起こしとパソコン講座のお仕事に携わることができてとてもうれしかったです。楽しくお仕事させていただいています。また色々教えていただき感謝しております。これからも長く続けていきたいです。(60歳代女性)

職業相談事業

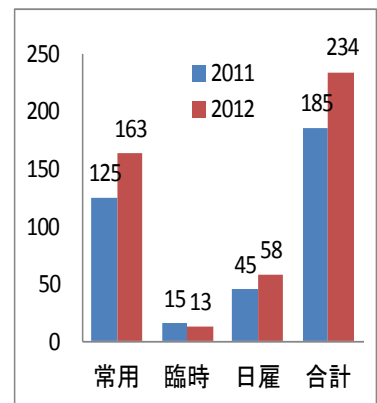
就業状況



就業の形態は、起業(NPO法人設立:赤色)における就業と、相談(無料職業紹介:青色)による就業の合算となります。4月、9月はNPO法人設立件数が多かったため、起業部分の就業が伸びています。(NPO法人設立件数に比例)

個別相談による就労は、就職相談を始めスタッフ全員で情報共有し、相談者に合わせた丁寧な対応に取り組んでいます。

求人については、一人ひとりの求職者のニーズに合わせた求人開拓を心がけ、常用雇用が伸びています。NPO法人からの求人も増えています。



相談者を年齢別に分類すると、35歳～44歳26%で続いて45～54歳となっており、転職組が増えているとともに、子育て中のおかあさんの登録もあります。

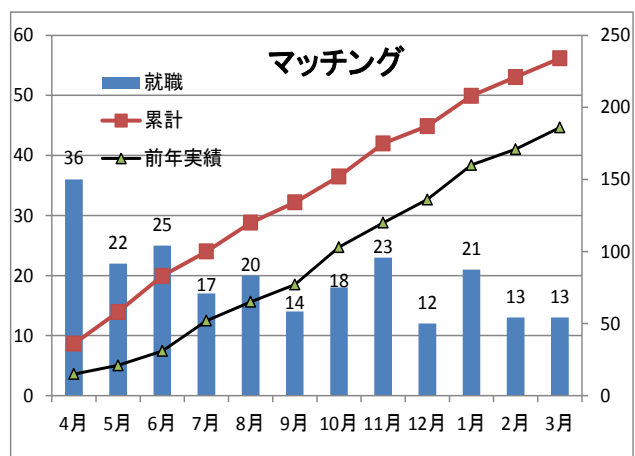
60歳を超える高齢者は昨年は19%でしたが、今年は26%で割合も絶対数としても増加しています。このように比較的就職ができてく方の支援が重要な課題となっています。

マッチングについては、就職担当をはじめ、スタッフ全員で情報を共有すると共にハローワークやその他関連機関との連携により、前年より26%増となりました。

高齢者の就職率も若干上がりましたが、常用雇用の比率は残念ながら伸び悩んでいます。

子育て中の女性の場合、子供が学校に行っている間しか働けないというハンデキャップがあります。短時間パートの求人開拓が課題となります。

このような課題解決として、求人の開拓先を、障害者、高齢者も含め多様な働き方の提供が期待できるNPO法人や、福祉系企業等に働きかけており、来年度の課題となっています。



東北大震災被災者就職支援状況

被災避難者への就職マッチングは、24年度は10名で、これまでの合計は17名となっています。

兵庫県「ひょうごアドプト推進事業」

(1)活動状況の把握と書類の授受

阪神北県民局管内で活動する新規の2団体を含めた30団体から提出された書類(前年度活動報告書、次年度活動計画書等)を、整理しとりまとめ提出しました。団体名変更をうけた2団体の変更届を提出し、あわせて平成25年度のアドプト活動計画について、30団体の活動内容を把握しました。

①活動状況の把握:30団体

※伊丹:4団体、宝塚:11団体、川西:10団体、猪名川:2団体、三田:3団体

(2)協力企業開拓

宝塚市内の観光事業者・飲食業者に協力を依頼をし、11月開催の「ひょうごアドプトチャリティフェスタ」に協力を得ました。年々協力企業が増えていることで、観光資源の保持に繋がり地元地域の活性化の一助となっていることがチャリティフェスタに関わる団体には大きな励みとなりました。

(3)団体間のネットワークと地域への啓発

下記の3事業を通じて地域へのアドプト活動の啓発と団体間の絆づくり、また、参加団体と地元の自治会が協働できるよう事務局として支援しました。

・草刈り機取扱講習会を開催

6月に「草刈り機講習会」を開催しました。「草刈り機講習会」は安全な活動と事故防止のため「兵庫間伐サポートサービス」との協働で草刈りの実習、また道具の正しい使用と手入れ方法を講習しました。参加団体には大変好評でした。

・夏祭り参加

宝塚市内の3団体が活動の自主資金作りのために企画したブドウ販売を、「ソリオふれあい夏祭り」に企画提案しコーディネートした。

・光の道しるべ

武庫川河川敷で活動している3団体が、アドプト啓発活動として企画し「小浜の町並みを愛する会」と共同開催した「宝塚光の道しるべ」(8月23・24日開催)の打ち合わせ会議に参加し、広報など行った。企業・近隣マンションと協働し昨年まで途切れていた宝来橋上流もつなげることができ、宝来橋から宝塚大橋までの2700mをつなげることが出来、地域のイベントとして盛り上げました。

・阪神北ひょうごアドプト☆チャリティ・フェスタ

「第4回阪神北ひょうごアドプト☆チャリティ・フェスタ」を開催しました。天候にも恵まれ同日に他の行事が多く開催されたにも関わらず、800人という多くの方に参加いただくことができました。今年は毎年のブースに加え東日本大震災の避難者団体・障害者施設よりの申し出により出店していただき、大変賑わいました。近隣の複数の自治会・NPO団体と協働できたことなどで地域の行事として定着しています。



兵庫県 「地域づくり活動支援事業」

兵庫県の地域づくり活動支援事業として、少子高齢化・過疎化などが急速に進む但馬地域のNPO等の非営利組織の活動を支援する為、本年度は「スーパーNPO育成事業」「NPO等人材育成事業」「NPO等カフェ運営事業」の3つの事業を受託しました。これらの事業が相互に連携する事により、但馬地域のNPO活動を効果的にサポートすると同時に、但馬地域における中間支援組織の必要性と重要性を訴求していく事ができました。



(1)スーパーNPO育成事業

但馬地域では、NPO活動について気軽に相談できる窓口がなく、地域のNPO法人や地縁団体等の非営利組織、コミュニティビジネスやソーシャルビジネスを始めようとする一般市民が、地元で安心して起業相談や運営相談、講座受講ができる窓口となる、現地の中間支援組織を育成を目指しました。

但馬全域からの交通アクセスが良く、気軽に立ち寄れる豊岡駅前の豊岡市民プラザを受託運営するNPO法人コミュニティアートセンタープラッツを育成団体として選定しました。

①出前講座

当センターが長年培ってきた中間支援組織のノウハウを活用した各種講座を但馬地域で出張開催し、支援団体の中間支援力の向上と地域のNPO活動を支援しました。

Road to NPO～まちづくりの第一歩～ プラザdeセミナーの開催

6月23日	教えて！NPO 講師：宝塚NPOセンター 事務局長 中山光子	参加者：22名
7月21日	はじめてのボランティア講座 講師：宝塚NPOセンター 橋田てつ子	参加者：10名
8月18日	NPO法人設立入門講座 講師：宝塚NPOセンター 若林雄一	参加者：12名
9月6日	NPOの登記講座 講師：神戸地方務局	参加者：10名
9月29日	NPOマネジメント講座 講師：(株)出藍社 代表 松崎光弘	参加者：17名
10月18日	但馬NPOネットワーク会議(NPOと行政の協働会議) 6団体による活動事例発表と協働についての意見交換	参加者：50名
11月17日	認定NPO法人になるには 講師：宝塚NPOセンター 若林雄一	参加者：18名
12月15日	NPOコミュニケーション向上講座 講師：スマイルプラス 理事長 佐伯和亜	参加者：8名
1月19日	NPO会計実務講座 講師：公認会計士 作花良祐	参加者：23名
2月16日	事業計画作成講座 講師：兵庫県立大学 當間克雄	参加者：17名
3月16日	NPOの年度末会計実践講座 講師：宝塚NPOセンター 吉野茂子	参加者：21名

